

建畠 哲さんの『死語のレッスン』に

ことしの萩原朔太郎賞は、建畠哲さんの『死語のレッスン』に決定しました。ここでは建畠さんのプロフィールや受賞コメントなどを紹介します。賞の贈呈式と記念講演は、10月27日(日)に前橋文学館で行います。

問い合わせは
文化国際課 ☎027-898-6522



建畠 哲さんのプロフィール
たてはた あきら

昭和22年、京都府生まれ。早稲田大文学部卒。詩人、美術評論家。京都市立芸術大学長、埼玉県立近代美術館館長。平成3年に『余白のランナー』（思潮社）で第2回歷程新鋭賞、平成17年に『零度の犬』（書肆山田）で高見順賞を受賞。

最終選考

選考委員と最終選考候補5作品
については次のとおりです。

●選考委員 (50音順・敬称略)

岡井隆（歌人・医師）、高橋源一郎（作家・評論家）、平田俊子（詩人・作家）、松浦寿輝（詩人・小説家）、吉増剛造（詩人）

●候補作品・作者・出版社（作品50音順・敬称略）

『明るい日』野木京子（思潮社）、『海町』岩佐なを（同社）、『奇跡—ミラクル—』長田弘（みすず書房）、『死語のレッスン』建畠哲（思潮社）、『廃炉詩篇』和合亮一（同社）

受賞コメント

ささやかな詩集ですが、転職、転居を繰り返したこともあって、刊行するまでに9年を要しました。死語の誕生というパロドックスを言葉が迎えるもつとも根源的な出

来事として捉え、そこにたゆたう夢想の光景を追うという試みをまとめたものですが、こんな奇妙なレッスンでも値すると評価してくだされた方々に心より感謝いたします。

贈呈式・記念講演

日時 10月27日(日)午後1時30分
会場 前橋文学館
対象 一般、先着80人
内容 選考経過の説明や賞の贈呈、建畠哲さんの記念講演など
申し込み 10月8日(火)から文化国際課 ☎027-898-6522へ

朔太郎月間

10月から2カ月間、萩原朔太郎にちなんだ催しを行います。

■若い芽のポエム贈呈式・朗読会
日時 11月9日(土)午後1時～3時30分
会場 前橋テルサ

■萩原朔太郎賞受賞者ブレ展・若い芽のポエム作品展

日時 10月5日(土)～11月24日(日)、午前9時30分～午後5時
会場 前橋文学館

新たに6品が認証されました 赤城の恵ブランド!!



前橋産の農畜産物やそれらを使用した加工品で安全・安心な産品を、「赤城の恵ブランド」として認証しています。今回新しく6品が仲間入り。生産者が丹精込めた前橋産の逸品を、ぜひ、ご賞味ください。

問い合わせは 農林課 ☎027-898-5841

販=販売場所 問=問い合わせ

朝採り卵のなめらかぷりん



自社で生産した卵を使用した、卵の味を生かした卵屋さんのプリンです。

販 後閑養鶏園直売所など
問 同園
☎027-285-4125

「名峰赤城」 活性にごり 特別純米生原酒



富士見で収穫する「ひとめぼれ」から造られる、スパークリング清酒です。(12月下旬から販売)

販 富士見地区内の取扱小売酒販店など
問 富士見村特産品販売組合
☎027-288-2593

「芳醇」 本格粕取り焼酎



富士見地区の米から製造される清酒の酒粕から作られる本格焼酎です。

販 富士見地区内の取扱小売酒販店など
問 富士見村特産品販売組合
☎027-288-2593

モッツアレラ (さけるタイプ)



前橋産の生乳を100%使用して製造した、ミルク本来の味わいが楽しめるチーズです。

販 松島農園直売所など
問 同園
☎027-285-6862

たもぎ茸



濃厚なうまみが特長で、出汁きのことも呼ばれ、和洋中の全ての料理に合います。

販 市内量販店など
問 太陽運輸
☎027-269-7722

まえばしうどん



前橋産小麦「さとのそら」を100%使用した、地粉風味の強いうどんです。

販 JA 前橋市産直ゆうあい館
問 前橋市農業協同組合
☎027-261-3832

イベントに合わせ 無料 EV バスを運行します

秋のバラフェスタの初日とアーツ前橋のグランドオープンに合わせ、低速電動コミュニティバスを運行します。

日時=①10月12日(土)②10月26日(土)・27日(日)、午前10時～午後4時

乗降場所・運行ルート=①ばら園第3駐車場(利根川河川敷キャンプ場南)～ばら園②右図のとおり。市営パーク城東や市営パーク千代田・五番街付近など、まちなかを2ルートで周回



問い合わせは 交通政策課 ☎027-898-5939

